

学校だより 加茂野小学校

学校の教育目標

豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子
考える子・優しい子・元気な子



「タイピング」で出し切る！

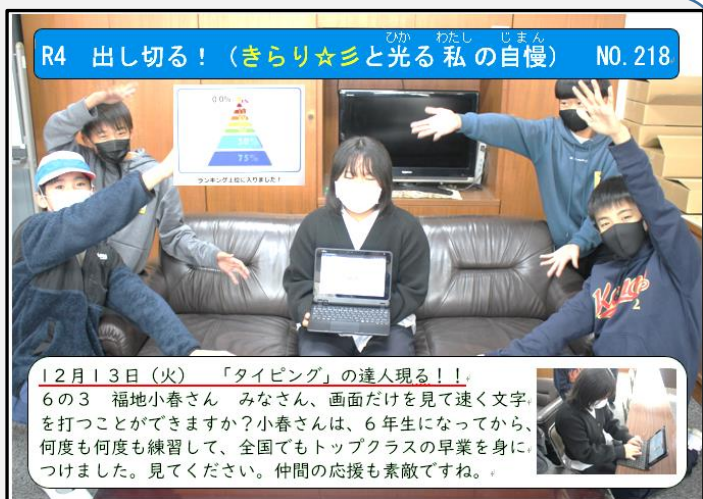
～タイピングの達人現る。そして周りには仲間が！～

加茂野小学校長 堀部 昇

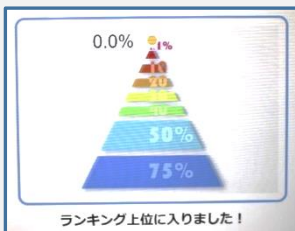
それは、12月13日（火）の昼休みの出来事。6年生数名が校長室前でざわついていました。「見てください！」「見てください！」「すごいです！」「全国版です！」タブレットを開いたままの本人と周りの仲間。画面をみると、どうやらタイピングの結果が出ているようです。

※タイピングとは

キーボードをたたいて文字を入力すること。キーボードのアルファベットを見ずに、画面だけ見て入力すると短時間で入力できる。



12月13日（火）「タイピング」の達人現る！！
6の3 福地小春さん みなさん、画面だけを見て速く文字を打つことができますか？小春さんは、6年生になってから、何度も何度も練習して、全国でもトップクラスの早業を身につけました。見てください。仲間の応援も素敵ですね。



ランキング上位に入りました！

画面にはピラミッドの形をしたランキング表が出ていて、頂点の1%のところに入っていました。細かい結果も横に出ています。『0.0%』「これって、0.0%だから千人に一人ってこと？」と確認すると、周りの子が「0.1%なら千人に一人。0.0%だからもっとすごい！」

周りの仲間がそのすごさをうれしそうに猛アピールします。本人は笑顔で様子をうかがっています。「そりゃあ、見てみんとなあ」と私。さっそく「タイピング」を始めてもらいました。かたずを飲んで見守る仲間。そして私。

結論！それは、まさに「タイピングの達人」でした。速いのなんの。電光石火と言えれば伝わるでしょうか。やはり全国区で何千人に一人です。聞けば、6年生になってから、家でも学校でも繰り返し繰り返し練習。夏休みの一課題も『タイピング』だったとか。

自分の興味あることにとことん挑戦し得意にする姿は、まさに「出し切る」そのものです。

出し切ることは自分の自信になる。自分のよさを磨くことになる。そして周りに感動をもたらす。

また、仲間の存在も素敵でした。校長室へと導いた仲間。仲間のすごさをまるで自分事のように一緒に喜ぶ仲間。いいことはいいと認めてくれる仲間。写真でも自然とこのポーズができました。

今日で81日間にわたる742名の2学期が終わりました。子どもたちの成長は、日常生活の繰り返しの中では実感しにくいことも多いですが、上記の事例のように、『いつもどこかでだれかの「出し切る」があり、周りには認めてくれる仲間がいた』そんな2学期であったと思います。

これもひとえに保護者、地域の皆様が常に温かく見守り、支えていただいたことによるものと考えます。心より感謝申し上げます。それでは、2023年もよい年でありますように！